

9 月 29 日 : 大引けにかけて売りが強まり、VN 指数は 5 日続落

好調なマクロ経済データに投資家は慎重な姿勢を示し、安値拾いの買い需要は後退。ベトナム市場は軟調な値動きとなった。

ホーチミン市場の VN 指数は 1.53% (17.55 ポイント) 安の 1,126.07 ポイントで、5 日続落となった。しかし朝方は安値拾いの買いが集まり、同指数は小幅に上昇していた。

同指数は今週 77.2 ポイント以上下落している。

朝方に株価上昇のサインが見られたが、多くの銘柄が売られ、値下がり銘柄数は値上がり銘柄数を上回った。

出来高も減少、そのうちホーチミン市場のオーダーマッチング方式の出来高は前日と比べて 14.5% 減少した。売買高は 4 億 1,600 万株、売買代金は 9 兆 1,600 億ドン (3 億 8,430 万米ドル) となった。

VN30 指数も 1.14% (13.22 ポイント) 安の 1,147.44 ポイントだった。

騰落別では 20 銘柄が下落、6 銘柄が上昇、4 銘柄は変わらずだった。

直近の大きな下げを受けて安値を拾うリスク選好ムードが強まっており、好調な経済報告を受けて VN 指数は朝方上昇していた。しかし大引けにかけて急に売り圧力が強まった。VN 指数は下げに転じ、前日終値を割り込んだ。

専門家の多くは「テクニカル分析から VN 指数が 1,100 ポイントを割り込む可能性があり、投資家は取引を控え、マーケットの様子を見るのが良い」と話す。

木曜日にベトナム国家統計局は、第 3 四半期の実質 GDP の伸び率が前年同期比 13.6% の増加になったと発表した。

1～9 月期の伸び率は 8.83% となり、2021～2022 年で最も高い成長率となった。

不動産セクター、製造セクター、銀行セクターの大型株は引き続き大きく売られた。その中でもビンググループ（VIC）は 5.04% 安とマーケットの下げをけん引した。

その他にもベカメックス IDC（BCM）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）、ヴィエティンバンク（CTG）、マサングループ（MSN）、VP バンク（VPB）といった大型株は少なくとも 1.3% 以上下落した。中でもベカメックス IDC は 7% のストップ安を付けた。

複数の大型株が買われ、マーケットを下支えした。ビナミルク（VNM）、ビンコムリテール（VRE）、ペトロベトナムガス（GAS）はそれぞれ 0.96～1.3% 上昇した。

ハノイ市場の HNX 指数も下落し、5 日続落となった。同指数は 1.17%（2.94 ポイント）安の 249.41 ポイントで取引を終えた。

売買高は 5,780 万以上、売買代金は 1 兆 1,000 億ドンとなった。

外国人投資家は引き続きホーチミン、ハノイ市場で売り越した。売り越し額はホーチミン市場で 1,616 億ドン、ハノイ市場で 101 億 6,000 万ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。